別記様式12号

平戸警察署協議会第１回会議議事概要

日　　時	令和２年１月22日(水)　13時40分～16時00分
場　　所	平戸警察署講堂
出　席　者	１　協議会 濵﨑会長　小田委員　阿部委員　針尾委員 ２　警察署 山崎署長　笠副署長　林田警務課長　山口交通課長 西口地域課長　生活安全係長　警備係長 ３　書　記 留置係長
会議の状況	１　前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。 (1)「飲酒運転の根絶」について ア　平戸市役所や猶興館高校、生月中央公民館等で期間中約900人を対象に交通講話を実施した。 イ　忘年会シーズンを前に、スナックや居酒屋等酒類提供飲食店を訪問し、飲酒運転防止のキャンペーンを実施した。 ウ　飲酒運転容疑者に関する捜査やミニ検問、機動取締り等交通指導取締りを実施した。 (2)「年末に向けた各種事件事故の抑止」について ア　平戸警察署の令和元年における刑法犯認知件数を抑止目標である56件以下に抑止した。 イ　年金支給日における特殊詐欺被害防止キャンペーンを実施した。 ウ　高齢者座談会へ参加し被害防止の注意喚起を実施するとともに、各種団体に対して防犯講話を開催した。 エ　特殊詐欺被害発生時の防犯広報を防災無線及び防災メールを利用して実施した。 オ　防犯・交通安全功労があった個人に対し、感謝状を贈呈した。 カ　金融機関やコンビニエンスストアに対する年末特別警戒を実施した。 ２　令和元年10月から12月までの業務重点推進結果について 各課長から、次のとおり説明があった。 (1) 高齢社会総合対策の推進 ア　高齢者に係る各種犯罪抑止対策の推進 イ　自治体との情報共有、連携強化による対策の推進 (2) 犯罪抑止対策の推進 ア　年末に向けた各種犯罪抑止対策の推進 イ　狩猟期間における事件事故の防止 (3) 各種犯罪の検挙推進

会議の状況	窃盗事件など各種犯罪の検挙推進 (4) 各種事故防止の推進 ア　秋の行楽期における事件事故防止 イ　年末における事件事故防止 (5) 交通事故抑止対策の推進 年末に向けた総量抑止対策の推進 (6) 大規模警護警備に伴う諸対策の推進 ア　身辺警護員の育成 イ　管理者対策の推進 ウ　交通規制に伴う市民広報 3　業務重点推進計画について 副署長から、次のとおり説明があった。 (1) 高齢社会総合対策の推進 ア　高齢者を犯罪被害から守る各種講話及び広報活動の推進 イ　関係機関・団体等との連携強化による対策の推進 (2) 児童・生徒の安全対策の推進 ア　総合的な児童・生徒の安全対策の推進 イ　関係機関との連携と情報共有 (3) 各種犯罪の検挙推進 未検挙事件等各種犯罪の検挙推進 (4) 110番通報の広報及び各種事件事故防止対策の推進 ア　110番通報の積極的な利用促進と適正通報に資する広報活動の推進 イ　地域警察活動による各種事件・事故の未然防止活動の推進 (5) 交通事故抑止対策の推進 歩行者事故抑止対策の推進 (6) テロの未然防止対策の推進 ア　沿岸警戒の強化 イ　関係機関・団体との連携 ウ　管内の実態把握及び情報の収集 4　諮問テーマに対する答申について 署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答申があった。 (1) 諮問テーマ 警察官募集活動の効果的な実施要領について (2) 協議会からの答申 濵﨑会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。 ア　募集活動の対象年齢を下げて、中学生の段階からＰＲをして長い目で見ながら募集活動をしてはどうか。 イ　警察官のかっこ良さをもっと学校訪問等を行い、スライド等を利用してアピールして行かなければ、受験者は集まらないのではないか。 ウ　子供が柔道を習っており、友達の中には警察官になりたいという子も少なくないので、高校のクラブの顧問の先生に声をかけてみてはどうか。

	エ　募集ポスターやパンフレット等は良く見かけるが、どれくらいの人間がそれを見ているのかをリサーチし、募集活動の指針としてその後の活動を行った方が効率的だと思う。 5　速度取締り指針等について 交通課長から、速度取締り指針等について次のとおり説明があった。 (1) 平戸警察署の速度取締り重点 (2) 平戸警察署管内における交通事故発生状況 6　運転免許更新時講習の集約について 交通課長から、運転免許更新時講習の集約について次のとおり説明があった。 (1) 集約の理由 (2) 現状と集約後の流れ
提　出　意　見	1　高齢ドライバーへの安全運転指導の推進について 高齢ドライバーの中には、対向車線へのはみ出しや認知機能低下による危険運転のドライバーが増えているので、今以上に安全運転指導を推進してもらいたい。 2　卒業期における非行防止について 今期は学校の卒業期を迎えることから、卒業期における非行防止を推進してもらいたい。